

微生物学免疫学

研究可能テーマ

研究可能テーマ	研究指導者	受け入れ可能院生数
(1) T細胞や B細胞の免疫応答の解析 実験動物（マウス）や健常ヒトT細胞やB細胞の各種抗原（自己抗原、異物抗原、スーパー抗原）に対する応答を、発達した生物学や遺伝子工学的手法を用いて解析し、リンパ球の分化・成熟および機能発現の機構を明らかにする。	八木教授 ミヤケ助教	2
(2) ヒトの加齢とT細胞成熟の解析 新生児、幼児、成人、高齢者等の免疫応答性をT細胞を解析することにより明らかにする。新生児や幼児においては感染症克服に、高齢者においては感染症、発癌、自己免疫疾患の発症の克服につながるべく解析する。	八木教授 加藤准講師	2
(3) 免疫性疾患の発症機序の解析 各種免疫疾患患者や免疫疾患モデルマウスの炎症反応の変動やリンパ球および自然免疫に関わる細胞の各種抗原に対する応答性の解析さらにマウスにおいては各種臓器の免疫組織学的検討を行い、病原因子の探索を行う。自己免疫疾患、アレルギー疾患、原因不明の疾患（川崎病など）の発症機序が研究の対象となる。	八木教授 柳澤准教授 ミヤケ助教 芦野助教	2
(4) 感染症の発症機序の解析 各種感染症患者および細菌感染による強度の生体異常をきたしたマウスにおける炎症反応、自然免疫および獲得免疫応答の解析、さらにマウスでは各種臓器の免疫学的検討により病原因子のみならず制御因子の解明を目指す。この研究計画には、トキシックショック症候群、劇症型レンサ球菌感染症、新生児感染症が関与すると考えられる難病の発症機序や病原因子の解析が研究の対象となる。	八木教授 柳澤准教授 大坂講師 加藤准講師 ミヤケ助教	2
(5) 細菌毒素の解析 スーパー抗原と呼ばれる細菌毒素による疾患の発症機序の解析、スーパー抗原の構造解析、および新しいスーパー抗原の探索をおこなう。トキシックショック症候群、猩紅熱、エルシニア感染症、その他スーパー抗原の関与が疑われている感染症の解析が研究対象となる。	八木教授 加藤准講師	2